

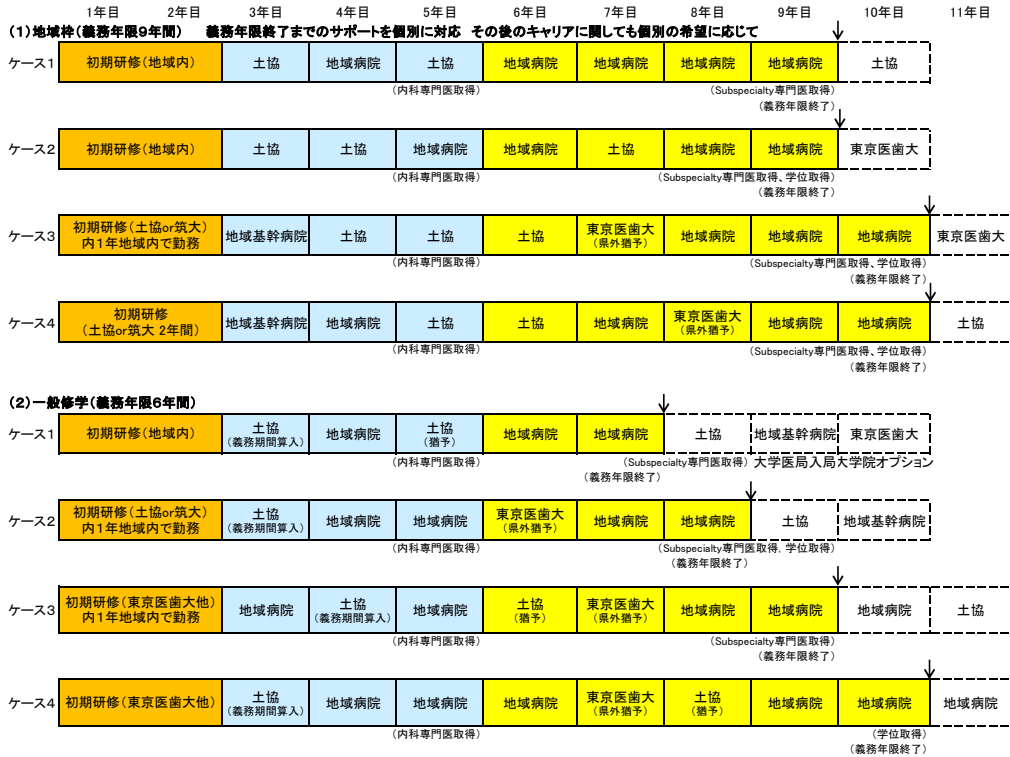
## 土浦協同病院 内科専門研修プログラム(地域枠、修学生)

### 特徴

- 1) 東京医科歯科大学、筑波大学と密接な関係をもち、最先端医療を含めた内科研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員、およびメンターが付き個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
- 3) 内科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4) 希望者には東京医科歯科大学の各専門内科領域講座に入学し、内科専門医取得後の様々なキャリア形成の支援が可能。社会人大学院入局による学位取得も支援可能
- 5) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。
- 6) 内科専門医取得後、あるいはSubspecialty専門研修後に個別の希望に合わせて海外留学によるキャリア形成支援が可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修
〇〇科・Subspecialty運動研修



(備考)  
初期研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣

初期研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣

初期研修1年が地域内たすき、2年目が土浦協同or筑波大 専門研修猶予活用で義務1年延長

初期研修2年が土浦協同病院または筑波大 専門研修猶予活用で義務1年延長

初期研修2年の後すべて指定病院へ派遣 専門研修の猶予活用で義務1年延長

初期研修の1年を土浦協同or筑波大で、専門研修後猶予活用で義務修了が8年目

初期研修の1年を県外で行い、専門研修後にも猶予活用で義務修了が9年目

初期研修を県外で行い、専門研修後でも猶予活用するため義務修了が10年目

地域病院例は日立総合病院やなめがた地域医療センター。今後さらに連携病院を増やしていく予定  
地域病院研修中は週1回の研修を土協で行うことが可能  
Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定いたします。

### 【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院 ひたちなか総合病院 総合病院水戸協同病院 JAとりで総合医療センター なめがた地域医療センター 白十字総合病院 神栖済生会病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院
C群病院群(県外・海外病院)	東京医科歯科大学附属病院 柏市立柏病院 秀和総合病院 武蔵野赤十字病院 草加市立病院 JCHO 東京山手メディカルセンター 国立災害医療センター 東京都保健医療公社豊島病院 平塚共済病院 横浜南共済病院 横浜市立みなと赤十字病院 青柳市立総合病院